

令和2年度使用教科用図書 答申資料（第3地区）

書 写		東書（東京書籍株式会社）
総 評		<p>書きやすい持ち方や文字の書き方のポイント、ふり返りがあり、主体的・対話的な学びに役立つよう配慮されている。</p> <p>系統性をもって取り組めるように、該当学年までと該当学年で学ぶ学習事項を学習用語ごとにまとめてある等、工夫がされている。</p> <p>たて書きは、左右どちらの手で鉛筆を持っても手本をしっかりと見ることができるように配慮されている。</p> <p>低学年の教科書については横幅がA4サイズと広く、机で広げる際に狭くなってしまうなど、配慮を要する。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ たて書きでは、左右どちらの手で鉛筆を持っても手本をしっかりと見ることができる。毛筆についても左利きの児童も用具を扱いやすいように写真で具体的に提示されている。④ ○ 文字の書き方のポイントやふり返りが主体的・対話的な学びに役立つ。③ ○ 該当学年までと該当学年で学ぶ学習事項を学習用語ごとにまとめてあり、系統性をもって取り組めるように工夫している。④
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「書きやすい持ち方」で児童が筆記具の持ち方を自分で確かめられるように、手の絵を児童の目線で描いている。① ○ 文字を正しく書くために、「しょしゃのかぎ」で考えを書く活動を取り入れている。③ ○ 俳句や百人一首が取り上げられており、古典に親しむことができる。③ ○ 筆圧が意識できるように、「ぐっ」「すう」などの言葉を使って説明がされている。⑤
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 色調が統一されており、明るい装丁になっている。③
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の目標に合わせて学習の見通しを立てながら、学習目標が達成できる構成になっている。② ○ ひらがな・かたかな・ローマ字の表が載っている。①
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低学年で使用する「すいしょようし」が綴じ込み資料となっており、すぐに使用できる。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特になし。
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特になし。
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低学年では本書のみ横幅がA4サイズと広く、机の上に広げにくい。①
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特になし。
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特になし。

書 写	学図（学校図書株式会社）	
総 評	<p>書写学習に興味・関心をもち、児童が主体的に取り組めるような「学習の進め方」やコラム、資料が掲載されている。</p> <p>児童が自分で姿勢や筆記具の持ち方が正しいかどうかを確認できるよう、いろいろな角度からの図が示されており分かりやすい。</p> <p>原寸大の手本がつけられているが、四文字の手本が、右に寄り過ぎており配慮を要する。</p> <p>児童が書き込みをして練習するスペースがあるが、低学年としてはやや少ないことが課題である。</p>	
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 書写学習に興味・関心をもって、主体的に学びに取り組めるようなコラムや資料を取り入れている。③</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 姿勢や筆記具の持ち方が正しいかどうかを、いろいろな角度で配置して児童目線で確認できるようになっている。①</p> <p>○ 各学年に「書写のふしぎ」が提示されている。用具が作られている過程などが提示されており、児童の興味・関心を引く。①</p>
	3 外的要素	<p>○ 教科書を開いてすぐ使えるように、原寸大の手本がつけられている。②</p>
	4 構成・配列	<p>○ キャラクターを用いて、学習の進め方や学習のポイントが分かるようになっている。①</p>
	5 資料・その他	<p>○ QR コードで、資料や動画が閲覧できるようになっている。タブレット等で児童が確認しながら、意欲的に書写の学習に取り組むことができる。②</p> <p>○ はがき、封筒、一筆箋など、教科書に直接書き込めるような欄が充実している。①</p> <p>○ 都道府県名を書く欄などが設けられている。他教科と関連づけながら学習が進められる②</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 特になし。</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 四文字の手本が、右に寄り過ぎている。①</p>
	3 外的要素	<p>○ 書き込みをして、練習するスペースが低学年としては、やや少ない②</p>
	4 構成・配列	<p>○ 特になし。</p>
	5 資料・その他	<p>○ 新学習指導要領に盛り込まれた「水筆」について、水筆用の用紙が1年生の教科書に添付されていない。①</p>

書 写	教出（教育出版株式会社）	
総 評	<p>話し合い活動を進めるための視点が示されており、書写の言葉で対話的な学習が活発に進む内容となっている。</p> <p>文字を書く位置、筆使いや筆圧を意識して書くことができるような工夫がある。</p> <p>教科書に書き込む分量が少ないため、他の練習用紙やノートを用意する必要があり配慮を要する。</p> <p>手本の文字の中に、ややバランスが崩れているものがあり、指導においては配慮を要する。</p>	
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 「ふり返り伝え合おう」の場面など、話し合い活動を進めるための視点が示され、対話的な学習が活発に進むような掲載がある。③</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 横書きの「っ」「ゃ」などの平仮名をマス目のどの位置に書くのかまで提示されている。指導者、児童共に文字の書く位置を意識しながら進められるようになっていく。④</p> <p>○ 筆使いについて、筆圧が意識できるように、穂先の動きがコマ割で提示されている。②</p> <p>○ 点画の種類について、見開きで提示されている。点画の練習等、学習のふり返り等に活用できる。③</p> <p>○ 点画の長短や接し方、組み立て方に目を向けて正しく整った文字を書くための方法を話し合いながら身に付けられる。③</p> <p>○ 話し合いについて、書写のことばを使った具体的なセリフなどが提示されており、児童が話し合いをしやすいような内容になっている。⑤</p> <p>○ 「ふり返ろう」のコーナーがあり、記入しやすい。⑤</p>
	3 外的要素	<p>○ 写真や挿絵が学びに応じて適切に配置されている③</p>
	4 構成・配列	<p>○ 学習した内容を生活に生かすことができるように、具体的な書写活の場面を多く掲載している。②</p>
	5 資料・その他	<p>○ QRコードで、資料や動画が閲覧できるようになっている。タブレット等で児童が確認しながら練習できるようになっている。②</p> <p>○ 水筆用の用紙の色が、緑を基調とした色になっている。実際に書いたときの文字が見やすいようになっている。①</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 特になし。</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 特になし。</p>
	3 外的要素	<p>○ 手本の文字に、ややバランスが崩れているものがあり、指導においては配慮を要する。②</p>
	4 構成・配列	<p>○ 教科書に書き込む分量が少ない。他の練習用紙やノートを用意する必要がある。①</p>
	5 資料・その他	<p>○ 特になし。</p>

書 写	光村（光村図書出版株式会社）	
総 評	<p>文字の大きさ、点画等について導入で話し合いの場をもち、児童の興味・関心を高めるよう工夫されている。</p> <p>「文字の配列」の項目で、ノート書き方が取り上げられており、児童が日常生活に生かしていけるように工夫されている。</p> <p>筆使いについて、筆圧を分かりやすく理解できるように表記する等、書く力を伸ばすための配慮がある。</p> <p>学んだことをさらに発展的に生かしていくための教材の例示が充分ではない。</p>	
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 文字の提示の仕方を工夫する等、文字の大きさ、点画等について、授業の導入で話し合いの場をもち、興味・関心を高められるような配慮がある。③</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 「文字の配列」の項目で、ノート書き方が取り上げられており、児童が日常生活に生かしやすい工夫がされている。③</p> <p>○ 筆使いについて、筆圧を分かりやすく理解できるように表記している。⑤</p>
	3 外的要素	<p>○ 手本の文字が大きくて見やすく、書きこみのマス大きさも学年に応じたものになっている。②</p> <p>○ ユニバーサルデザインに関して、視覚支援が必要な児童に配慮して、書きこむ所の回りに色づけしており、書く場所がわかりやすくなっている。④</p>
	4 構成・配列	<p>○ ひらがな・かたかな・ローマ字の表が載っている。①</p>
	5 資料・その他	<p>○ QRコードで、資料や動画が閲覧できるようになっている。タブレット等で児童が確認しながら練習できるようになっている。②</p> <p>○ 水筆用の用紙が小さめである。児童が収納しやすく、出し入れが容易であるように思われる。①</p> <p>○ 書写ブックがついており、これまでの学習の振り返り等に活用できる。①</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 特になし。</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 特になし。</p>
	3 外的要素	<p>○ 特になし。</p>
	4 構成・配列	<p>○ 学んだことをどのように発展的に生かしていくための教材の例示が充分ではない。②</p>
	5 資料・その他	<p>○ 特になし。</p>

書 写		日 文（日本文教出版株式会社）
総 評		<p>各単元に、書写学習の目標に沿った着眼点が提示されており、主体的に学習を進めるための手立てについて配慮されている。</p> <p>どの学年も指でなぞる文字が大きく、筆順を確かめやすくするなど、基礎・基本につながる学習過程について配慮がある。</p> <p>見出しの文字にゴシック体が使われており、文字指導導入期の低学年には配慮が必要である。</p> <p>書写で四文字を書く手本については、名前を書くスペースをとっているため、指導の際には留意が必要である。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 各単元の中で、書写学習の進め方など目標に沿った着眼点が提示されているので主体的に学習を進めることができる。③
	2 内容の取扱い	○ どの学年も指でなぞる文字が大きく、筆順を確かめやすい。② ○ 書き順に色別の番号が付けられていたり、短い言葉でも説明が添えられていたりしており、意識しやすい工夫がされている。③(3年 P.21) ○ 文字の組み立てごとに色分けされている。③
	3 外的要素	○ 児童が好む色を表紙に使い、書写の教科書に親しみをもてるような工夫がされている。①
	4 構成・配列	○ 単元ごとに学習の流れが、「めあて」～「生かす」までの3段階で示されていて、児童が授業の流れを意識しながら、効果的に学習を進められるようになっている。①
	5 資料・その他	○ URLで、資料や動画が閲覧できるようになっている。タブレット等で児童が確認しながら練習できるようになっている。② ○ 水筆用の用紙が大きい。児童が手本をもとにして、筆順などを確かめながら文字を書く練習を行うことに適している。また、1度に多くの文字を何度も練習するのに適している。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ 見出しの文字にゴシック体が使われており、文字指導導入期の低学年にはあまり適していない。
	3 外的要素	○ 特になし。
	4 構成・配列	○ 書き初めの四文字の手本が、名前のスペースをとっているため、文字の配置が右に寄っている。(6年 P.29～31) ①特になし。
	5 資料・その他	○ 特になし